月　　日　名前

青空文庫（５）「蟹工船」(1) 小林多喜二

見ながら練習

なぞって練習

「おい地獄さ行ぐんだで！」

二人はデッキの手すりに寄りかかって、蝸牛が背のびをしたように延びて、海を抱え込んでい函館の街を見ていた。―漁夫は指元まで吸いつくした煙草を唾と一緒に捨てた。

※ふりがな：青空文庫の文中ふりがな
・行ぐ：えぐ
・蝸牛：かたつむり

copyright (c) まる字の無料ペン字練習と漢字検定テキスト集 all right reserved.